

11月の果実の見通し

令和4年10月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	長野 青森 山形 ほか	6375	115%	7436	386	安い	311	1301	20.4%	本年度は、大きな天候被害もなく各主産県で不作だった前年に比べて2割程度多い数量見込んでいる。「サンふじ」のスタートは山形産で10月末、長野産で11月初旬、青森産で11月中旬を見込んでいる。食味は各地良好で大玉傾向、本年度は中生種に出遅れが見受けられ、また過去にない高値であった前年と比較すると安値での展開が予想されるが平年並みの市況展開になると考えられる。
西洋なし類	山形 新潟 ほか	824	105%	1065	490	安い	385	731	88.7%	山形産「ラ・フランス」はエチレン処理したものが10月21日、一般予冷品が10月25日からの販売開始となり各JAが出揃う。収穫は平年並みを見込み、出荷中心階級は平年並みの18玉中心となる。新潟産「ル・レクチエ」は11月下旬出荷開始予定、平年より収穫量は多く大玉傾向と見ている。
かき類	福岡 奈良 新潟 ほか	5848	105%	6559	351	安い	288	366	6.3%	「たねなし柿」は上旬まで刀根早生柿と平種無柿の併用販売となるが上中旬からは平種無柿のみの販売となり下旬は新潟産となる。代わって福岡・奈良・岐阜産等の「富有柿」中心の販売になる。出荷量は前年に比べ多く12月上中旬までの販売となる。愛知産「次郎柿」は前年災害に見舞われ少なかったが本年度は一昨年並みの出荷量が見込まれる。
干し柿	山梨 長野 富山	108	110%	110*	2011	並み ~ 安い	1943*	-	-	山梨産「あんぼ柿」は柿の生育が順調で豊作となり前年より多く出荷される見込み。富山産は10月中下旬から出荷が始まり出荷量は多い。長野産「市田柿」は10月から作業に入り11月下旬から、また福島産も下旬からの販売開始となる。各産地生柿が豊作傾向にあるため出荷量は前年に比べ多くなる。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	21985	90%	21447	283	高い	275	-	-	産地間格差は多少あるものの、入荷予想では極早生同様早生みかんも昨年を大きく下回る出荷予想になっている。11月～年内販売量を考えると昨年対比80～85%だと予想される。10月末から例年通り順次早生の出荷が始まるが各産地早生以上に中生種以降の数量減が予想されているので、無理した出荷はしないので、相場展開的にもしっかりした展開になると思われる。内容に関しては現状以上に良い仕上がりが期待できることから、試食宣伝など内容をしっかり消費者にも伝えながら販売していければ極度に滞留することもないと思われる。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)

*4ヶ年平均